

2017 ふりかえりの塔慰霊祭 平和宣言

この 7 月 7 日国連本部で開かれた「国連会議」で、加盟国の 2/3 にあたる 122 か国の賛成で核兵器禁止条約が採択されました。残念ながら日本は参加しませんでした。核兵器禁止への大きな一歩となるこの流れは紆余曲折があろうとも変わらないと信じます。

「昭和 20 年 8 月 6 日の生き地獄で亡くなられた方、生き延びても火の海と血の色とうめき声が交錯しているに違いない人々の心や霊を慰めたい」と、今から 40 年ほど前に千田町一丁目の先輩たちが、このふりかえりの塔を建立し、毎年ヒロシマの片隅で 40 回にわたり慰霊祭を催してきました。私はこのヒロシマの千田町のような小さな積み重ねが、世界の多くの賛成を得る力になったのだと考えます。

ふりかえりの塔の前の石碑には、「後ろ髪を引かれ、振り返ってはころび、火の粉を浴びながら、また振り返る」と書いてあります。私は、ふりかえりの塔の名称の由縁は、そのところから付けられたのだとばかり思っていました。ですが最近、ふりかえりの塔の名称には、「あの時あの日を再び繰り返してはならない。20 年 8 月 6 日を振り返りいつまでも忘れないで。そして、あの時代どこでどう間違ったのか、振り返って、ふりかえって考えてください」と絶えず問い続けるそのような振り返りの意味も含んでいるのではと思い至るようになりました。

この 1 年ふりかえりの塔建立に至った、古い資料をヒモときながら、千田町一丁目の先輩諸氏の仕事に改めて感銘を受けるとともに、「あの時あの日を再び繰り返さぬためにふりかえる」その建立の深い思いを私たちも次の世代につなげて行きたいと考えます。

2017 年 7 月 29 日 千田町一丁目町内会長 小野本利明